

重点目標一覧表

担当部局名 上下水道局

【平成25年度重点目標】

【平成26年度重点目標】

重点目標	災害に備えた施設・組織づくり	重点目標	経営効率化の推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
1	<p>上水道管路耐震化</p> <p>上水道緊急連絡管整備（長中央簡水と本原簡水の緊急連絡管）</p> <p>災害時に対応できる技術者育成</p> <p>災害発生時のバックアップ体制の検討 危機管理マニュアルに基づく想定訓練の実施</p>	<p>老朽管の布設替 目標2kmに対し2.6km完成 管路の耐震化 目標3.3kmに対し3.7km完成 真田長地区の簡易水道統合を優先して進めることに変更 作業主任資格（玉掛・移動式クレーン・床上クレーン）を新たに延べ8人取得</p> <p>上水道施設災害マニュアル作成、加圧給水車導入 目標3回に対し、3回実施</p>	<p>経営方針に基づく事業計画の推進 民間委託化の検討 ・上下水道料金徴収・窓口業務の包括的民間委託化の推進 ・浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討</p> <p>収納率の向上 ・現年度分水道料金・下水道使用料 ・現年度分下水道負担金・分担金 公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計の統合検討 県企業局主催の水道事業運営研究会（仮称）での方向性研究</p>	<p>10年間の財源計画と事業計画の「ローリング」実施</p> <p>・民間委託化に向けた行程表作成 ・委託部門の計画策定及び委託化に向けた行程表作成</p> <p>・99% ・96% 平成28年度統合に向けての検討 研究会での方向性検討</p>
2	<p>経営方針に基づく事業計画の推進 下水道施設の長寿命化計画の策定 収納率の向上 ・水道料金・下水道使用料現年度分 ・下水道負担金・分担金現年度分 経営改革の取組 ・広告掲載事業の検討 ・料金等徴収業務の包括的民間委託化の推進 ・浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討 ・終末処理場の包括委託手法の検討 公営企業会計の抜本的改正に伴う対応</p>	<p>10年間の財源計画と事業計画の「ローリング」を実施 長寿命化計画を国に提出し事業の同意取得</p> <p>・目標99%に対し、98.59%（3月末現在） ・目標96%に対し、93.13%（3月末現在）</p> <p>・費用に見合う効果が見込めないため、実施を見合わせ ・包括的民間委託化に関する方針(案)策定 ・先進地視察の実施、委託化に向け検討中 ・包括委託手法について検討（案）を策定 新基準に基づき平成26年度当初予算を編成</p>	<p>重点目標 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>真田地区の簡易水道を上水道へ統合 水源改修・改良 水源水質検査の強化体制継続 ・湧水水源の水質検査 ・セシウム134及び137の検査</p> <p>水質等自動検査設備設置</p> <p>管路網解析による給水区域の見直しとバックアップ体制整備 有収率の向上及び鉛給水管の布設替</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>関係機関との合意形成 上本入第2配水池加圧ポンプ設置</p> <p>・クリプトスポリジウム11箇所・34検体 ・浄水場原水-12回・浄水-4回/年、湧水 水源2回/年 ・上水道-流量計(2)設置 簡易水道-伝送装置(2)、水位計・残塩計 ・流量計(各1)設置 管路網解析システムへのデータ入力完了 有収率84% 鉛給水管の布設替752箇所</p>
3	<p>重点目標 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>水源改修・改良 水源水質検査の充実 ・真田、武石の湧水水源の安全対策及び検査強化</p> <p>真田地区の簡易水道統合 鉛給水管の布設替</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>長坂水源改修工事实施 湧水水源4箇所に紫外線照射装置設置工事实施 泉町水源油分検知器、活性炭注入設備設置工事实施 湧水水源の水質検査予定どおり完了。指標菌等不検出 地元地域と今後の進め方について協議 目標500箇所に対し、760箇所施工</p>	<p>重点目標 上水道ライフラインの計画的な維持・更新</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>上水道管路耐震化 上水道施設アセットマネジメント策定 浄水場の施設及び設備更新 ・鹿教湯浄水場の設備更新 ・腰越浄水場の設備更新</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>L = 6.68km 年度末までに策定</p> <p>・P A C 注入設備更新 ・傾斜板・P H 計・残塩計・濁度計等更新</p>
4	<p>重点目標 快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>下水道未整備箇所の管渠工事の推進 水洗化の促進 安定した処理能力の確保 農業集落排水の公共下水道統合事業の推進 浄水場堆積物を、改良土として有効活用 再生可能エネルギーの活用</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>目標3.9kmに対し、4km発注2.2km完成 新規接続戸数目標700戸に対し856戸接続 管平浄化センターポンプ設備更新実施設計業務発注 統合事業実施時期について検討 改良土化560.8m³ 小水力発電設備導入について関係機関と事前協議完了 工事は、新年度へ継続</p>	<p>重点目標 下水道施設の計画的な維持・更新</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>下水道未整備箇所の管渠工事推進 農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 長寿命化事業の実施 ・4処理場の実施設計 ・管平浄化センターの設備更新 水洗化の促進</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>1.6km 財産処分調査の実施（3地区）</p> <p>・年度末までに実施 ・水処理設備及び電気設備更新 新規接続戸数500戸</p>
5	<p>重点目標 長野県企業局との連携による塩田、川西地区の県営水道の統合推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>県営水道を分割移管するための1企業4市町での検討</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>検討作業部会2回、検討会1回出席 検討会（3月18日開催）で、現状では分割移管は現実的な選択ではないとの結論に至り当面休止と決定 今後、県企業局が情報交換のための研究会を設置</p>	<p>重点目標 循環型社会の形成に向けた資源の有効活用の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>再生可能エネルギーの活用 浄水場堆積物を改良土として有効活用</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>小水力発電設備導入 改良土化 600m³</p>

<p>市長指示事項</p> <p>・事業計画については、目標を持ち着実に実施できるよう取り組むこと。 ・小水力発電設備については見直しをつけ、導入できるよう鋭意取り組むこと。</p>	<p>市長指示事項</p> <p>・民間委託化については、前進するよう鋭意取り組むこと。 ・施設の長寿命化については、計画的に進めること。 小水力発電設備については、導入に向け計画的に進めること。</p>
---	--